

續セラルルハク從ツテ將來豫想セラルル損害ノ増大モ止ムヲ得ザル
モノトナシ國民ニ對シ政府攻撃ノ矛ヲ避ケントスル意圖ヲモ加味
セルモノナルヘシ

四 曩ニ「カイロ」宣言（別紙第四參照）アルニモ拘ラス敢テ本聲明
ヲナセルハ三國カ對日戰完結ノ方式トシテ飽ク迄無條件方針ヲ堅
持スルト共ニ更ニ一方面的無條件降伏後ノ日本處理方針ヲ示シ其ノ

對日處理ノ基準ヲ示セルモノト謂フヘシ

五 本聲明ニ於ケル日本處理方針ハ一見比較的寛大ナルカ如キモ右ハ
多分ニ伸縮性ヲ有シアリテ（例ハ八國體ニ關シテハ直接言及シ居
ラサルカ如キ）今後ノ情勢推移如何ニ依リテハ本聲明ノ如何ニ拘
ラス日本處理ヲ寬嚴何レニモナシ得ヘク此ノ點前大戰ニ於ケルウ
イルソン「十四原則」ニモ鑑ミ特ニ警戒ヲ要スルモノアリ（別紙
第三參照）

六 本聲明發表前ニ於テハ三國會談ト關聯シ「トルタン」カ對日和平

條件「ボツダム」會談ニ携行セリトカ或ハ「スターリン」カ日
本ノ和平提案ヲ携行セリトノ風説行ハレタルカ本聲明發出ニ因
シテ米英ハ豫メ「ソ」聯ノ諒解ヲ求ムルト共ニ「ソ」ノ誘引ニ努
メタルハ本聲明カ「ボツダム」ニ於テ發表セラレタル件及ヒ聲明
中ノ措辭（南樺太等ニ何等言及シ居ラス）等ヨリスルモ明カナル
モ「ソ」聯カ「ボツダム」會談ニテ何等東亞問題ニ關係シ居ラサ
ル事實ヨリシテ「ソ」ハ今後東亞問題ニ關シ自主獨自ノ立場ニ於
テ處理スルモノト推測セラル